

自己点検・評価表

基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校長名	所 在 地			
山本学園情報文化 専門学校 専門課程	平成 4 年 4 月 1 日	小林 義孝	〒472-0025 愛知県知立市池端 1 丁目 1 3 番地 (電話) 0566-83-8020			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所 在 地			
学校法人山本学園	昭和 40 年 1 月 7 日	山本 直明	〒472-0025 愛知県知立市池端 1 丁目 1 3 番地 (電話) 0566-81-2151			
目的	高度情報化社会に通じる I T 技術者の育成、高い生産能力を持つデザイン 習得、幅広い I T 活用能力を身に付けさせ、高度な資格の取得資格も目指す					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼)	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
商業 実務	専門	情報ビジネス	2 年	1800 時間	有	無
		高度情報ビジネス	1 年	870 時間	無	無
学科名	講義	演習	実験	実習	実技	
情報ビジネス (2 年)	1020 時間	0 時間	0 時間	1080 時間	0 時間	
高度情報ビジネス (1 年)	320 時間	0 時間	0 時間	700 時間	0 時間	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
130 人	124 人	9 人	8 人	17 人		
学期制度	■前期：4 月 1 日～9 月 30 日 ■後期：10 月 1 日～3 月 31 日			成績評価	■成績表 (有) ■成績評価の基準・方法 学則の評価方法に基づき 100 点 満点で評価	

長期休み	<ul style="list-style-type: none"> ■学年始め：4月1日 ■夏季：8月6日～8月31日 ■冬季：12月23日～1月9日 ■学年末：3月23日～3月31日 	卒業・進級条件	在籍学科の規定の単位を取得し、かつ所定の出席日数を確保
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制（有） ■長期欠席者への指導等の対応 <p>家庭と連携をとる。 必要により家庭訪問を実施</p>	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> ■新入生交流会 ■校外研修, 卒業研修旅行 ■就職セミナー ■企業見学, インターンシップ ■学校祭
就職等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ■主な就職先 <p>㈱エスワイシステム、㈱ジェイテック、 ナビオコンピュータ㈱など</p> <ul style="list-style-type: none"> ■就職率 <p>99%（希望者中）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■就職者の割合 <p>85%</p> <ul style="list-style-type: none"> ■進学者の割合 <p>15%</p>	主な資格・検定	<p>データベーススペシャリスト ネットワークスペシャリスト 情報処理安全確保支援士 情報セキュリティスペシャリスト 応用情報機技術者試験 基本情報技術者試験 情報セキュリティマネジメント Webクリエイター能力認定試験 Photoshopクリエイター能力認定試験 Illustratorクリエイター能力認定試験 C言語プログラミング能力認定試験 Microsoft Office Specialist ビジネス能力検定ジョブパス 2次元CAD利用技術者試験</p>
ホームページ	URL: https://senmon.cfc.ac.jp/		

1. 学校の教育目標

校訓「誠」

教育方針「誠実にして豊かな情操を持ち、しかも実力ある人を育てる」

昭和31年愛知県認可校となり、平成4年4月「山本学園情報文化専門学校」へ改称と合わせ2年課程の情報ビジネス科を設置し、平成29年4月に1年課程の高度情報ビジネス科を設置し、近年の高度情報化社会に通じるIT技術者の育成

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

学生の個々への実力をつけ、将来を見据えた教育を行う

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1).教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・学校理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

①課題

社会状況の変化に対応できる教育目標の検討

②今後の改善方策

業界のニーズの情報収集

③特記事項

業界への勉強会実施を検討

(2).学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 ③ 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 ③ 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

①課題

長期運営方針の策定，ペーパーレス化を進めデータの保管について一本化を検討

②今後の改善方策

5年期間での運営方針を計画する，システム化を進める

③特記事項

業務の分担化を記載し周りに分担が分かるようにする。業務が偏らないように分担できるもの分担していく

(3).教育活動

評価項目	適 切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修行年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 ③ 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 ③ 2 1
・関連分野の企業・開発施設や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 ② 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

①課題

高等課程での学習内容を含め、教育の質を高めるための検討

②今後の改善方策

教育方針と授業の質をより近いものしていくための体制を検討

③特記事項

教員の質を高めるための学習および外部研修の時間確保や調整

(4).学修成果

評価項目	適 切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

①課題

卒業生の活躍の把握

②今後の改善方策

在学中から学校との連絡を意識付けし、状況を把握できる仕組み作りを行う

③特記事項

資格状況はホームページにて公表

就職状況はパンフレットにて公表

(5).学生支援

評価項目	適 切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 3 ② 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 3 ② 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 3 ② 1
・保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

①課題

学生の生活環境への支援が不足

②今後の改善方策

予算と人員の確保

学生相談などの時間の確保が必要なため時間の変更検討

③特記事項

学生の経済的支援については、国・県の支援制度活用
体調管理など相談場所および時間の確保を行う

(6).教育環境

評価項目	適 切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 ③ 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 ② 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

①課題

防火マニュアルの見直し、施設の点検を行い、老朽化を改善する

②今後の改善方策

計画的な設備の修理及び必要となる設備の購入、複数回の防災訓練の実施

③特記事項

避難場所の確認、救命救急講習などの実施

(7).学生の受け入れ募集

評価項目	適 切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 ③ 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1

①課題

学納金の妥当性の検討

②今後の改善方策

評価システムの構築

③特記事項

特色ある教育の実施

(8).財務

評価項目	適 切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 ③ 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 ② 1

①課題

財務状況を踏まえての教育を実施

②今後の改善方策

学習内容の多様化に伴う施設・設備の充実を図る

③特記事項

刊行物にて財務情報を山本学園本部受付にて公開

(9).法令等の遵守

評価項目	適 切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1
・自己評価結果を公開しているか	4 ③ 2 1

①課題

各教員の意識の充実

②今後の改善方策

自己評価を継続して行う

③特記事項

自己評価公開

(10).社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 ② 1
・学生ボランティア活動を激励、支援しているか	4 3 ② 1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4 3 ② 1

①課題

経済的に厳しい学生が多く、授業後や休日での活動が難しい

②今後の改善方策

地元とのコラボレーション企画など、学生への働きかけを行い、前向きに取り組む

③特記事項

市民公開講座の実績を踏まえて検討する

一般の検定の会場校となり地域の方に検定の受験場所として受験しやすい環境を整える

(11).国際交流（必要に応じて）

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 3 ② 1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 3 ② 1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 3 ② 1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 3 ② 1

①課題

外国籍学生の考え方や言葉の問題への対応

②今後の改善方策

留学の条件を今まで以上に提示する

③特記事項

外国人労働者が多いため、留学生に関しては、慎重に取り扱っている

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

全体的には、ほぼ適切に行われている。

高等課程とのカリキュラムの連携を行っていくことや、学習内容の多様化に伴う施設の維持が必要となっているため順次施設整備を行っていくことが必要と考えられる。

技術を持った教員の老齢化に伴う若い教員の技術育成を早急に実施する

また、今後も問題となる少子化社会における生徒募集について、さらに検討しなくてはならない。